L95100063	A

追加取扱説明書

[TYPE：HS-A 型]

■リモコンについて

リモコンのコネクタは、アングルタイプです。
コネクタには、ソケットからの抜け防止用のロックツメはありません。

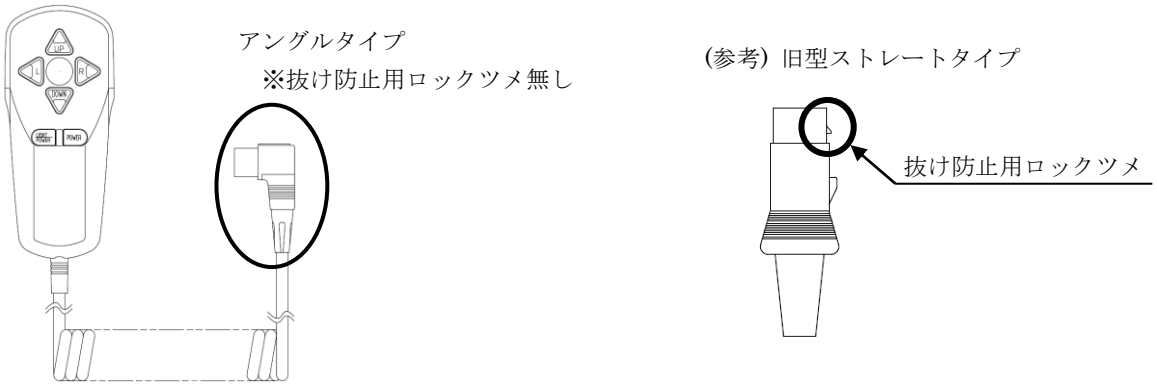


図 1 リモコン

■リモコンコンセント組立について

リモコンコンセント組立のソケットは、抜け防止用ロックツメ孔はありません。

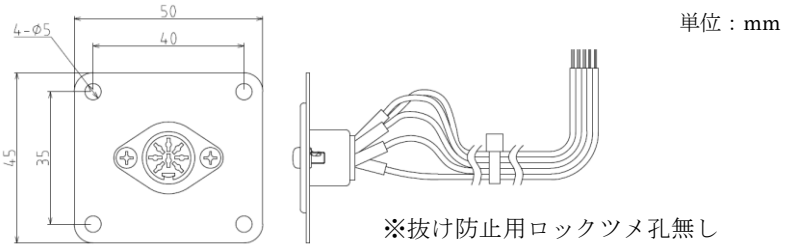


図 2 リモコンコンセント組立

■リモコンコンセント組立の設置およびリモコンの接続時のご注意

リモコンは、リモコンコンセント組立に、一方向にしか接続できません。
図 3 のように、リモコンコンセント組立のソケットに切り欠き（キー溝）のある方向が、リモコンコネクタのコード引出し方向になります。

リモコンコンセント組立は、ソケットの切り欠き（キー溝）を下側にし、リモコンのコード引出しが下方向となるように取付けてください。
取付けの際、図 4 に示すようにコネクタ（ソケット）本体の中心から下（コード引出し）方向に 60mm 以上のスペースを空けてください。
スペースが小さいと、リモコンのコネクタ本体部が機器やパネルに当たり、正常にコネクタが接続出来ない、コードが急な曲げとなるなど、断線や破損の原因となります。

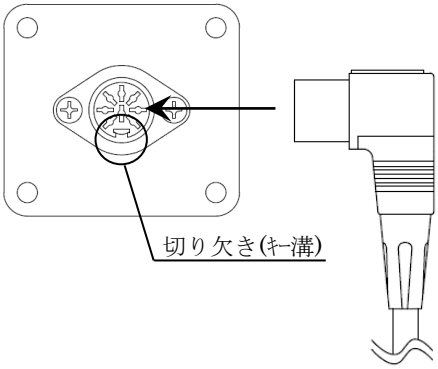


図 3 コネクタ接続方向

60mm 以上のスペースを空けることが出来ない場合は、取付け場所を変更するか、リモコンコンセント組立の取付方向を横向き（図 5）にするなどして、正常にコネクタが接続出来るようにしてください。

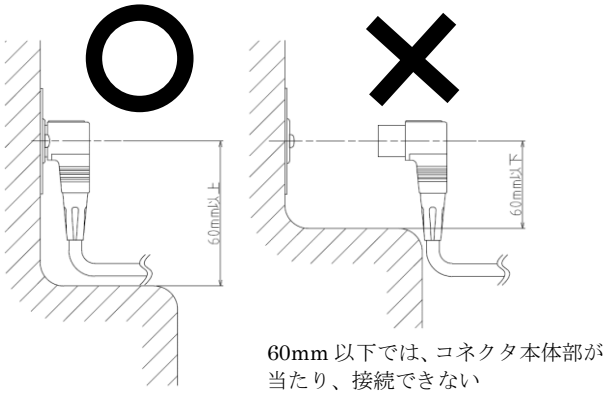
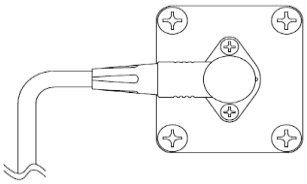


図 4 取付場所

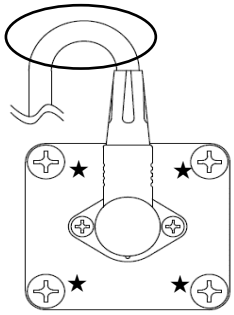
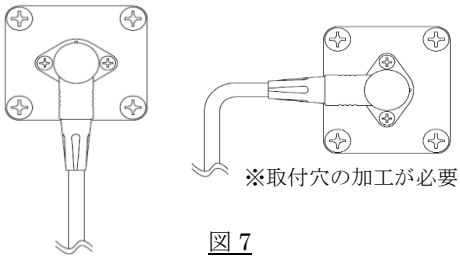
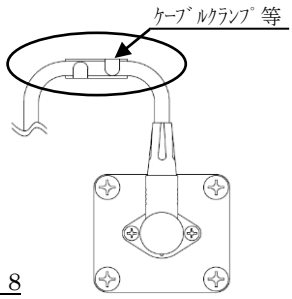


※取付寸法は、縦横で異なるので、本体取説の「3.取付方法」もしくは、図 2 の寸法を参照してください。

図 5 横向き取付け

■リモコンの修理・交換時のご注意点

リモコンの破損等により修理・交換をされる際、既設のリモコンコンセント組立が、ソケットの切り欠き（キー溝）が上側になるように設置されていた場合、図 6 のようにコード引出しが上向きになり、リモコンのコードが急な曲げとなり、コードが断線しやすくなります。
このような状況の場合は、ソケットの切り欠き（キー溝）が下側になるように、取付方向の変更をお願いします。
スペースがなく、コード引出しを下方向に出来ない場合は、新たな取付けネジの穴加工が可能な場合は横向きに、もしくは図 8 のようにケーブルクランプ等でリモコンのコードを固定し、急な曲げとならないようにしてください。

リモコン交換時の状況	処置方法
※断線しやすい  図 6 取付方向の変更は、★印 4 箇所のネジを外してから行ってください	【取付方向の変更が可能な場合】 コード引出し方向を下向きもしくは横向きに変更してください  ※取付穴の加工が必要（図 2 参照） 図 7
	【取付方向の変更が出来ない場合】 ケーブルクランプ等でコードを固定してください  図 8

その他の使用方法等については、本体の取扱説明書を参照してください。